

4.2 大学経営基礎講座アンケート

講座全体

1.1 講座全体について(N=24) ※集計上 100%にならない場合もある

	とても良かった	良かった	あまり良くなかった	全く良くなかった
開催時期及び演習回の時間帯	54%	46%	0%	0%
4つのトピックの内容や組み合わせ	50%	46%	4%	0%
講義回と演習回との組み合わせ	50%	46%	4%	0%
専門知識と技術との総合性	33%	63%	4%	0%
大学経営の現場での役立ち具合	29%	63%	8%	0%
オンデマンドとオンラインとによる実施	75%	25%	0%	0%
わからないことがあった時の対応	42%	58%	0%	0%
欠席時の対応	50%	50%	0%	0%
質問や問い合わせ等の対応	58%	38%	4%	0%
全体の満足度	63%	33%	4%	0%

1.2 講座全体についてご意見がありましたら教えてください。

- ・私にとって「大学経営基礎講座」は、とても有意義なものであった。特に以下の4点については、他の研修等では習得できない内容であった。1.大学職員としての幅広い基礎知識を習得ができたこと。2.参加者と講師の皆さまのベクトルが同じであったこと。3.自大学のケースを用いて、講座を進められたこと。4.オンライン開催であったため、全国に仲間ができたこと。今回の講座では、自大学という小さな枠を超え、討論ができたことで、自大学だけが抱えている問題ではなく、他大学でも同じような問題を抱えていることを認識でき、さらに1つの解決策まで議論ができたことが良かった。もし、要望を一つ言えるのであれば、プログラムとして、東北大学を会場として、対面で講義をしていただけたとよかったです。
- ・講座に参加して良かったのは何が分からないのかが明確になったことです。特に、法令や財務については正解がある中でかなりの知識不足である点を認識しました。大学職員が総合格闘技であるということがとても腑に落ちました。また、全国から様々な職員の方と出会えたこと、各大学の実務の話聞いたことが良い刺激になりました。ありがとうございました。
- ・参加者が多いため難しいことは百も承知だが、各課題への評価(A、B、C、Dなど)とフィードバックが欲しかった。
- ・講座内容の設計ももちろんですが、課題の意図を説明していただいたり、様々な場面で受講生に配慮していただいたおかげで、気持ちよく、モチベーションを落とすこと無く受講を終えることができました。また、講座外での交流を促していただけたことも、ありがたかったです。
- ・講義回と演習回が組み合わせられているところに魅力を感じ受講したが、演習回があることでより理解が深まったと感じており、この点については期待通りだった。
- ・講座の機会をいただきありがとうございました。演習のグループワークについては、自分自身のグループワークへの苦手意識から、消化不良になってしまうことがあり、限られた時間での対応の難しさも感じました。
- ・「大学とは」から始まり、その後各論に行くスタイルとはとても良いと思う。欲を言えば設置の話はあったが「教務事務の基礎(教育プログラム・カリキュラム開発とか?)」「研究支援の基礎(外部資金の管理サイクル、地域と大学連携?)」についても科目としてあればよかったと思う。
- ・「大学事務組織・法令論」は、設置の事例から考えていくスタイルであったが、その事例が国立大学のH大学という偏差値60以上の大都市の指定国立大学という得意な事例であり、平均的な大学が来ている参加者には、あまり参考にならない点があるのではないかと思います。
- ・受講生の経験が、(大学職員以外の方を除くと)3年くらいから20年越の方も見られたが、上限は10年くらいにした方がいいと思う。若い方は年齢差(経験差)がありすぎて話しづらかったのではないかと思います。
- ・人数も30名だと、顔と名前が一致しないです。募集要項の24名でよいのではないだろうか。
- ・時間が90分ですと慌ただしいです。100分授業を採用している大学もありますので、100分でもよいかもしれない(学習時間の整理が大変になるかもしれませんが...)。
- ・今後、この講座の受講生から業務界をリードする人材がでてくると思います(すでに受講生でセミナー講師をされている方もおられますが...)。今後、第1期、第2期といった「期」をこえたネットワークを模索していかなければならないと思います(これは運営側というより受講生側の問題です)。その点を理解しての運営側へのお願いですが年一回でいいので、「期」をこえたネットワークづくりの場を作ってもらえるとありがたいです。
- ・おそらく、20代の大学職員の方が、40・50代となるころの大学職員業界は少子化で悲惨なことになっていると思います(なので、今の大学事務局トップのロールモデルや仕事のやり方は、さして参考にならない)。そのような環境でも生き残っていける大学を作る人材(この参考となるのは40歳代のフロントランナー的な大学職員ではないだろうか)から、学ぶ機会を更に進めてほしいと思います。
- ・全てオンラインかつオンデマンド、講義回で知識を取得して(インプット)、演習回で各受講者の持っている知識や考え方を活かして課題を作成して他の受講者からの意見も得る(アウトプット)というスキームが非常に良かったです。他の似た類の研修では、アウトプットやそのフィードバックを得る機会があまりなく、本研修では様々なバックグラウンドを持った他の受講者の考え方をすぐに知ることができ

るため、すぐに気づきを得る機会があることも良かったです。

・講義回と演習回の組み合わせ、課題の内容等、全体の構成がとても考えられており、毎回の TOPIC で新しい気づきや考え方を学んだと実感しました。戸村先生のお話の方法や進め方がちょうどよい雰囲気の中で心地良く楽しく参加させていただきました。分からない場合や不安な場合のお声がけも多数いただき、そのサポートもとても安心できました。

・まずは、講座を受講させていただいたことに感謝申し上げます。特に毎回のグループワークなどで受講生のみなさんとお話できたことはよい刺激となりました。講義回では、とても勉強になったと思う回もあった一方で、少々おさなりのように感じた回もありました。自腹で受講したこともあり辛口で回答しています。短期間でまとめる講座ですし、(もしも自分自身が講義をする側であつたら先生方のようににはできないわけですから)受講生側からの大きすぎる勝手な期待です。演習課題について、他の受講生の方に共有する関係もあり、大学名を記入するのではなく、設置形態や規模などを選択するフォーマットであればと何度か思いました。通常、学外の研修などで情報を持ち出す場合や、所属大学の職員として意見交換の場に参加する際は予め上司の承認を得ています。今回の講座では、なるべく公開している資料を用いましたが、職務として受講しているわけではないこともあり少々取組み辛いと感じた場面がありました。これは需給バランス的にはよくないのかもしれませんが、せっかくの東北大学の講座ですから、外部資金の獲得であつたり、他大学の講座では提供が難しいような内容も扱っていただけるような機会がありましたら、またぜひ勉強させていただけますと幸いです。

・4 か月間の講座運営、誠にありがとうございました。4 つのトピックの内容については、受講者それぞれの経歴、経験によって内容の中には既知のものがあつたと思いますが、大切なことはそこではなく、自分ひとりの経験や知識として終わらせるのではなく、同じ大学職員として働いている受講者間で意見を交わすことで新たな視野や視点を獲得することだと感じ、各演習回が大変有意義な時間でした。人材育成の中で叫ばれているように、答えのない問いに対して自分なりの答えを見つける力が必要視されている中、大学(職員)の置かれている立場としても、まさに何をすれば確実に生き残れる、いい学生を育てることができるということではなく、自分自身ひいては自大学自身で答えを見つけていくしかない講座を通して感じました。そういった意味では今後の日本、世界にとっての高等教育に大学職員が必要であることを再確認できた講座でした。今はまだ役職も何もない専任職員ですが、数年後に大学にとって大きな意思決定に関わることを想定して、今から自分自身を磨き続け、将来は価値を発揮できる人材へと成長したいと思っています。

・オンラインという特性を活かしながら、Google Classroom で常に講師や運営担当の方へ質問や意見交換ができる場が設けられている上に、隙間時間に課題や録画授業に取り組めるような工夫がなされており、働きながらの受講生に対して親身にサポートしてもらえる体制が整っていることが非常にありがたく感じました。また、全国各地の様々な規模で、かつ国公立の様々な立場の受講生とグループワークを通じて意見交換できたことは、単に貴重な情報交換だけでなく、ネットワークの構築や自分自身の能力開発の時間として、とても有意義な時間になりました。

・財務に関する知識や法令について、事例を上げながら具体的に学ぶことができ、非常にわかりやすかったです。他の大学マネジメント系の履修証明プログラムでは、前提知識として詳しい解説は割愛され、少し理解に苦しむことがあつたので、今回のプログラムでクリアになる点が多く良かったと感じました。学内では、他に他大学の履修証明プログラムに参加する人が少ないのですが、こちらのプログラムは参加しやすかったですし、なにより戸村先生をはじめ運営の塚部さんや講師陣の皆様が非常に丁寧に接してくださるので、他の職員にも参加を勧めたいと感じました。

・戸村先生がとても優しいお人柄が伝わる講座で安心して受講できました。業務の都合で土曜日は出張(他の研修会)が多く、その中で講座になんとか参加したため日曜日に講座があつてもいいのかな、と思いました(出張地に早めに行き、レンタルスペースなどを借りて受講しようとしたときに 10:00~の所ばかりで、10:15~とかの実施でもいいのかな、とも思いました)。トピック2が課題の提出日が他のトピックと違ったため(シラバスは水曜日提出?)、どちらを信じていいのかわからなかったので提出日が通常と異なる場合はもう少し強めにアナウンスいただけるとありがたい、と思いました。グループ分けで一度も話せないままの人もいますので、グループ分けは皆さんと一度はお話しできるように作成していただけたらよかったです。ありがとうございました。

・大変お世話になり、ありがとうございました。「基礎講座」とあつたので、基本事項の復習用にと考えていましたが、初めて学ぶことも多く、とても充実した内容で勉強になりました。大学マネジメント論について、より深く学びたいと思いました。

・講義全体を 4 か月にわたり運営していただき、誠にありがとうございました。土曜の午前中に開講していただいたおかげで、午後の時間も有意義に活用することができました。オンデマンド動画では、コメントを通じて受講生同士の意見を共有でき、動画を見返す際に多様な視点から内容を捉えることができました。また、コメントを参考にすることで、自分にはなかった観点に気づき、学びの深まりを実感しました。オンライン講義では、グループワークやケースメソッドなど、受講者が主体的に取り組める工夫が盛り込まれており、自分自身にも適度な負荷をかけながら学ぶことができました。講義中に他の受講生と意見交換を行う機会も多く、学びをより実践的なものにすることができました。特に 9 月は後期授業の開始時期であり初回講座も重なって最も忙しい時期でしたが、その後は課内の協力もあって滞りなく受講できました。このような充実した学びの場を提供していただき、本当にありがとうございました。

・Google Classroom や Playposit を活用されていて、遠隔地でも問題なく講義を受講することができました。Playposit の仕様にはなりますが、別のタブで検索をしようとする動画の再生が止まったり、動画ごとの講師からの投げかけが、最後の時間にならないと見えないため、4 章のように別シートで一覧をいただけたら、最初の方に投げかけがあるとそれを考えながら講義を受けることができると思いました。

・戸村先生からはオリエンテーションの時から、適宜、「働きながらこの講座で学ぶことは大変だよ」と「覚悟」をもって講座に臨むようにと意識づけいただきましたが、実際にこの4か月間は学習やその準備、振り返り(まだ十分にできていませんが)など、大変苦労も伴うものでした。しかしながら、戸村先生を始め講師の方々がいい距離感とタイミングで併走してくださり、かつ同期のみなさんとともに苦労を共有しながら、どうにか途中棄権せずにゴールできました。これまで自分一人だけでは大学経営に関する体系立てた勉強はやってこなかったこともあり、演習課題に対して、「何を問われているのだろうか?」と毎回悩みながら進めていました。個人的にはこの講座を通して学んだことに対して、「思考を言語化する」訓練とその難しさを改めて体験できたことを今後活かしたいと思っています。また、極度の学びが足りない中で演習回の司会や報告の時にはとても緊張してしまいましたが、そういったことも含めてとても良い訓練にありました。まだまだ現場での実践には程遠いですが、講座を通じて、日々の業務への意識は少し変わった気がします。例えば「今のこの業務は

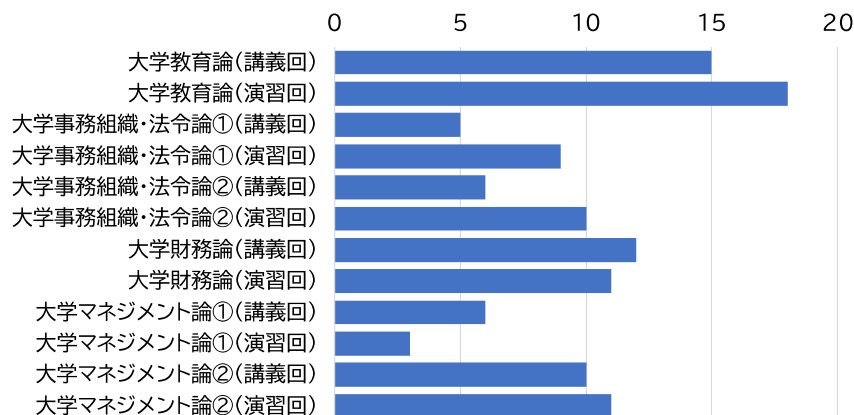
講義や演習を通して学んだ〇〇に当てはめて考えられることができるか？」などのように。また、本講座を通して演習回を重ねるごとに、受講者間の一体感が生まれ、それぞれの背景が異なることも織り込んだ上で、ともに悩みながら学びが深められたことは、個人的には大きなモチベーションになりました。

・履修前に学びたいと考えていた内容を十分に学ぶことができ、大変有意義な経験となりました。また、受講を通じて大学職員としての業務に対する理解と姿勢が深まりました。

科目及びトピック別

2.1 必修科目のうち、あなたにとって印象に残った、満足したものは以下のうちどれですか？

(1人最大5つまで複数回答可)



2.2 2.1 であなたがそのように回答した理由をお書きください。

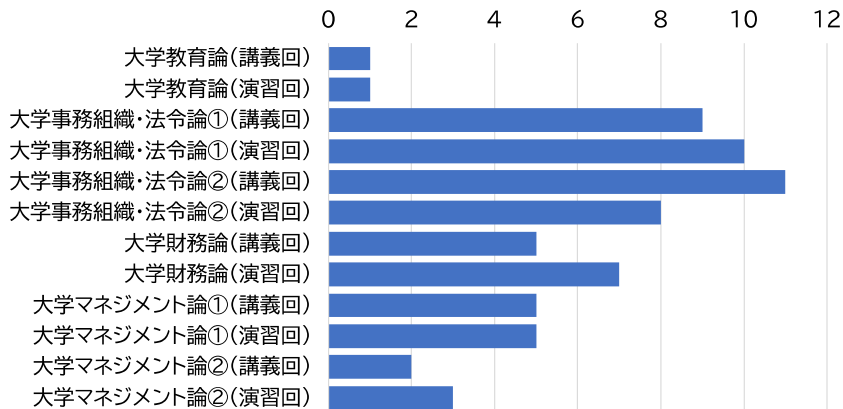
- ・本音での講義・討議が行えたこと。
- ・何が分かっていないのかがイメージできていませんでしたが、実務レベルに落として頂いたことで、その業務の経験がない自分でもイメージできるようになったから。
- ・戸村先生の講義は「THE 大学の講義」という雰囲気があり、ワクワク感があつた。また、視覚的にも、スクリーンを黒板に見立てて授業をしてくれていたのも、モチベーションを維持しやすかった(受講生にとって嬉しい工夫)。大学経営基礎講座の受講生たちは、実践的な知識とスキルの獲得を望むと同時に、純粋な学びを楽しみたいと感じている人が多いと思う。戸村先生の講義は、そういった受講生たちのハートをガッチリ掴むと思う。
- ・木村先生の講義は、「ずば抜けて優秀な大学職員のマシンガントークを聞く会」という雰囲気だった。「この人に負けないイケてる大学職員になるぞ!! 頑張ろう!!」と思わせてくれた。若い大学職員にぜひとも受けてもらいたい講義で、大学職員のイメージが良い意味で変わると思う。ただ、木村先生のキャラクターが非常に際立っているため、好き嫌いが分かれると思う(相手が誰でもズバツと切り込む感じ)。
- ・演習回において、講義の内容、自信の知識・経験、自大学の現状等の情報を複合して自身の考えを形成し、それを文章化したことで、より印象に残ったと思います。また、設置の趣旨や財務諸表など、今まで携わったことのない(苦手)分野について強制的に課題をやり遂げたことも、自信につながりました。さらにグループワークで他大学の状況等と比較できたことも良かったです。
- ・同じ事例や設問に関して受講生それぞれの意見を持ち寄り形式の演習回が有意義であったと感じる。大学財務論については重要な点に絞って初心者向けの説明をしていただいたと感じており、わかりやすかった。
- ・大学についての概観を得ることができたこと、またケースメソッドで考えを深めることができたことがよかったです。
- ・大学教育論 演習回:現場で起こりそうかつ答えのない題材であったので、自分で考えるかつ他の受講者の意見を参考にすると得られる気づきが多い課題であり、1 番最初の演習回として非常に良い回だと感じました。
- ・大学事務組織・法令論② 演習回:学部設置という大学職員業務の総合格闘技の位置づけであり、AC という実務上困る事柄についてどう対応するかまで含めて考える機会を頂いたため、非常にやりがいを感じました。
- ・大学マネジメント論①・②講義回:実際に職員でご活躍された方がここまで体系的に大学マネジメントについてご教示いただく機会は非常に有益だと感じました。加えて実体験に基づいているため非常に腹落ちもしやすかったです。また、自分が理事等にレクする機会があれば、本資料を見直してから実施したいと思いました。
- ・大学教育論→大学に関する知識が全くなかったため、大学の成り立ちや歴史を学び、今の大学組織である理由が理解できました。実際のケースメソッドでは、教務的な課題について、様々な材料を探しながら自分が当事者として具体的に考え方向性を導き出す練習になりました。
- ・大学事務組織論・法令論→新学部設置と学部設置の変更に関する課題がとても難しかったので、色々な資料を何度も読み、時間をかけたので印象に残っています。不明瞭だった部分は、演習回で他の受講生の方と話し意見を交わすことで理解を深めることができました。
- ・苦手意識があっても知らないままになっている内容があったことや、純粋に授業内容を興味深いと感じたため。
- ・大学教育論:大学の起源を知ることによって今日の大学を俯瞰して見ることができました。また、演習回の課題の中で空想の大学を事例として

扱っており、自大学を題材とするとバイアスがかかったりするので自身が所属していない空想の大学について考えることでより深い考察が必要でした。

- ・大学事務組織・法令論：自身が昨年より文科省への届出業務を行っていたこともあり、復習として最適な課題でした。今後大学として認可申請を行うことも想定されますので必要な知識をインプットできたと思います。
- ・大学財務論：私立大学と国立大学の財務諸表を用いた課題であり、それぞれの財務諸表をどう読みとくかも大事でしたが、私立大学の財務についての公開ページは学校法人会計が透明性と健全性を基盤とするものであることが見てわかるページでした。法律に基づく学校法人の財務について、そして財務分析の手法についても学ぶことができました。
- ・大学マネジメント論：文科省の政策や、様々なマネジメント手法を知ることができました。自大学の組織と照らし合わせて運用を考えるきっかけとなりました(最大5つまでとのことでしたのでチェックはできていません)。
- ・なかなか書籍などでこの情報量を収集することは難しく、かつ専門家の先生のご意見も同時に聞くことで解釈の参考になったから。
- ・大学という組織に興味があったので、知的好奇心をくすぐられる内容で面白かったです。また、戸村先生が演習回で使われていたホワイトボードが分かりやすくとても良いなと思いました。
- ・他大学の方とのディスカッションを通して、多様な意見に触れることができたから。
- ・選択した科目では、自分自身が実際リアルタイムで悩んでいることに直結する内容であったり、全く知らなかった触れたことない部分を教えていただくことが多かったためです。
- ・法令と財務については、もともと興味がありましたが、どのように学べばよいかわからず悶々としていました。体系立てて具体例を提示しながら考える機会をいただき学びが深まりました。また、DX についても関心があり、どのように推進するのかといったヒントを得ることができたため印象に残りました。
- ・まだ自分が経験したことがない業務に関する内容が含まれており、今後参考になった。
- ・他の方の意見をじっくり聞くことができたため。また、普段行っていない業務についてでしたので、参考になりました。
- ・知らないことを学ぶことができた。
- ・①大学教育論・演習回：ケースメソッドという初めての手法で進められたこと、そして初回演習であったことが特に印象に残っています。ケース教材も自身の業務と関連の深い内容だったため、非常に興味深く取り組むことができました。このような緊急事態が発生しないよう、普段の業務においてどのように取り組むべきかを改めて考える機会になりました。
- ・②法令編①：動画や課題を含め、確認すべき資料が多く、その分得られるものが多かった印象です。大学設置業務については、これから関わる可能性が高い分野であり、この講座を通じて触れることができたのは大変有意義でした。事前に準備すべき内容や確認事項を学べたことは、将来の業務に役立つと感じています。
- ・③大学財務論：財務について学んだことで、すべての業務において財務意識が欠かせないことを再認識しました。どの業務にも予算が関わり、それを意識したマネジメントが必要だという点が非常に印象的でした。基礎講座での内容は初歩的なものでしたが、演習回では財務担当の受講者の考え方や見方を知ることができ、大きな学びとなりました。普段の業務において、財務意識を持つ重要性を改めて感じています。
- ・④⑤大学マネジメント②：講義回・演習回ともに深く考えさせられる内容でした。大学の学長が直接講義や演習に参加してくださったことに感謝しています。また、塩田先生の考え方が印象に残っています。生成 AI の発展により 10 年後すら予測が難しい時代において、先を見据えながらスピード感を持って対応する重要性について学べました。普段の業務にも「経営する」という意識を持ち、未来を見据えた取り組みを心がけたいと思います。
- ・戸村先生：講義は今まで勉強したことがなかった大学の歴史や成り立ちを知ることができました。木村先生：ちょうど京都コンソーシアムの SD 研修会にも参加させていただき、事務の仕事や研究として客観的なデータ分析を元に勉強することができました。篠田先生：会計は大学時代も少し勉強したのですが、とっつきにくい印象があったので不安でしたが、分かりやすくこの部分だけ分かればよいということに救われました。他の医科大学との比較もやってみたいと思いました。塩田先生：講義・演習ともに自身に直結する内容で、他の受講者が同じような悩みを抱えていると分かったとともに入職者と実際の大学の現状のアンマッチを感じるすることができました。
- ・今回の講座全般的に言えることですが、自分自身が大学で働くこととなって、日々の業務をこなすことが中心で、個人的な研究や分析を行うというより感覚的な部分が多かったため、それぞれのテーマにおいての講義を受けることで感覚的なことを学術的な理解とつなげることができたトピックが多かったです。自分の考えを言葉にするための基盤として、基礎的な知識が伴わなければ言葉が揺らぐことを痛感しました。大学教育論については、大学の歴史や変遷、大学という特殊な職場について、大学で働く人のリテラシーの基本を学ぶ構成と内容が良かったです。「大学あるある」について真剣に(論理立てて)考える訓練は改めて大切だと思いました。大学事務組織・法令論①の講義が個人的な意識の変革に大きく寄与した講義・演習になりました。また大学事務組織・法令論①②の演習回は、自分がまったく扱ったことのない課題に対して難しさと、知っておくべき知識として学びたい葛藤の中で、何度も手を止めながら取組んだ演習でした。大学財務論については、改めて自大学の予算編成から執行の流れについて、そもそも予算の意義とは何？から学ぶことができたので、自大学は実際どうなっているのか？と知識を業務に振り替えるきっかけになった。
- ・大学教育論や大学マネジメント論は講義が体系的にまとまっていたので、理解しやすかった。また、インプットと演習回のつながりが分かりやすかった。
- ・演習回で各大学の状況や考え方を共有することで改めて自大学での取り組み等を考え直すことができた。財務論については個人的に知識が不足していたので講義回で全体を説明してくださり理解が深まった。

2.3 必修科目のうち、あなたにとって理解が難しかったものは以下のうちどれですか？

(1人最大5つまで複数回答可)



2.4 2.3 であなたがそのように回答した理由をお書きください。

- ・業務で担当したことのない内容であったため、事前課題を解くことが非常に難しかった。ただ、設置基準や法令についての苦手意識は無くなった気がする。
- ・単純に経験がなくどのように取り組めば良いかわからなかったこと、また、資料が多すぎて道筋が見えなかったから。
- ・強いて言うなら大学財務論の理解が難しかった。用語の意味から説明をしてもらいたいと感じたことが何度あった。
- ・「組織」という大きな題材であるため仕方のない部分も有ると思いますが、講義内容が抽象的で、講義動画を見終えても重要な論点がよく分からず、「腹落ち」できずに終わってしまいました。スライドの内容の詳細な説明がなされずに進んでいくことがあったため、スライドのどこが重要なかが理解できなかった部分もありました。抽象的な題材になるからこそ、もう少し噛み砕いた説明や、事例をあわせた説明をいただくと、理解の助けとなると思います。
- ・当日追加で出された討議テーマについて、理解が追いつかないままグループワークに臨むことになってしまい、もったいなかった。
- ・理解が難しい、というものは特にありませんでした。消化不良にはなりました。いかにも記載しますが、講師の立ち位置への違和感があったため、自分としては受け入れられない部分があったということです。
- ・大学事務組織・法令論→大学設置基準に関する書類は量も多く、資料の探し方や整合性の確認方法が最初全く分からなかったからです。新規設置も変更申請も全学的な内容を把握することが必要で、ものすごく難易度が高いと感じました。
- ・大学財務論→国立、私立と用語が異なるところ、財務諸表の並びが違うところで、理解が難しかったです。数字や割合が上下する変化は理解できましたが、その変化だけでは良し悪しは断定できず、他の資料から判断が必要であり日常から様々な資料を読み取る練習が必要だと思ったからです。
- ・業務上、学生と全く関わりがないこともあり、手探り状態だったからかと考えています。勉強になりました。
- ・設置基準の奥深さを痛感しました。
- ・内容の理解が難しかったというよりは、若干この講義の先の大学業務での活用のイメージ・講義の意図がわかりづらかった。演習回を通じて、こういう風に役に立つのだなと理解した。
- ・法令や財務は苦手意識のある分野でしたが、それぞれの背景知識も含めて丁寧に教えていただき、以前よりも理解が深まったと思います。
- ・財務やDXに関しては知識不足であったため。
- ・内容が難しかったというよりは、説明の中で分からない部分が何度あったからです。講義回では、スライドが沢山用意してあるにも関わらず、全てを説明されずかなり早いスピードで次から次へと進むため、「スライド内容のこの部分をもう少し詳しく聞きたい」と思っても説明が省略されている点が多々ありました。500文字以上説明のあるスライドが10秒で次に進んでしまうこともありました。私の理解能力の低さが原因ですが、資料を後で見返しても、あまり内容が思い出せない部分があり、何度も動画を見返したり、一時停止やスローにしたりと、少し理解に時間がかかったことが理由です。
- ・法令は奥が深く、大学運営に携わるには過去の法令の成り立ちから学ぶ必要があると感じました。わかりやすい内容でしたが、つながりを理解しながら大学運営を考えることに難しさを感じ、選択しました。
- ・研究内容等も踏まえた内容で、興味深かったが、講義内容が頭に入って来にくかった。
- ・データ分析は素晴らしいと思うが、実際の業務には使わない。
- ・すべてにおいて言えることは、講義を通じて初めて真剣に考える機会を得たということです。理解しようと努力しましたが、どうしても正解を求めてしまい、演習課題に多くの時間を要していたように思います。普段の業務では耳に入る程度だった法令、財務、DX、経営といったテーマに対し、実際にはほとんど目を向けずに大学事務に携わってきたのだと気づかされました。これら5つの項目にはこれまでほとんど関わっていなかったため、初めて取り組む際にはある種のアレルギー反応のようなものを起こしていたように感じます。正直なところ、現在も苦手意識があることに変わりはありません。特に理解が難しい分野については、人的資源が豊富な大学であれば内部での人材育成が可能かもしれませんが、小規模な大学では外部から専門人材を採用することが最も現実的で効率的な方法だと思いま

した。しかし、どの大学も人材確保が困難な状況にあると感じました。そのような状況でも、意識し続けることが重要だと感じています。自らの課題を把握し、小さな一歩でも進み続けることで、大学運営における貢献度を高めていきたいと考えています。この講義で得た学びを、業務に少しずつでも活かしていきたいです。

- ・木村先生・長山先生・篠田先生:これは私側の問題ですが、単科大学・予算業務がほとんどないという大学の環境のため、私の中で落とし込むことが難しかったという理由です。予算に関する資料がないため、他の部署に聞いたりしたのですが、私がこの講義を受講していることは大学に共有していなかったため疑問視をされました。どの先生の演習についてもグループディスカッションを進める中で自分の答えをなんとなく発見することができました。
- ・いずれも、個人的な知識・勉強不足であったがため、理解が難しかったという視点になります。法令論については、自身の苦手意識もあったので動画だけでは頭の整理が追いつかず、スライドの資料を見返したりすることについて必ずしも十分な時間が取れなかった。それでも、自分の業務の中で関連する法令を検索するなどの意識が身に付いた。大学財務論については、特に予算編成について本学の実態が講義で学んだ知識に即しているのか調べることができなかったため、理論を実践に展開するには不十分であったことは残念だったが、財務担当と雑談レベルではあるが、予算の定義について話す機会があり、担当レベルでもその認識が曖昧な部分があることに本講義で学んだことを学内に展開する必要性を感じた。大学マネジメント論①、②については個人的に興味があるテーマだったが、業務知識レベルとして覚えるべきことが多く、自大学に当てはめられた際に変革できるのかイメージがつかず、講義期間中には十分に消化しきれなかった。今年度はタイミングよく、「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について(中間まとめ)」について考えるきっかけとなり、自身に足りていないものを補う必要性を痛感した。スモールステップであったとしても改革の種をまきたいと思いました。
- ・インプットの範囲が広く、また抽象的な表現が多かったため、理解が難しく感じました。しかし、到達目標や参考文献等が明記されており、受講後に時間をかけて学習できるよう配慮されている点はありがたいと思います。
- ・参照しなければいけない法令が多岐にわたり、それらのすべてを講義と演習で網羅することはできなかった。完全に理解するには時間がかかることは承知しているが短期間ではどう解釈していいか判断に迷う部分があった。

2.5 必修科目で追加したほうが良いと思われるトピックがありましたら、そのトピック名と理由をお書きください。

- ・教職協働の話は今後必須にしても良いかと思いました。
- ・大学の国際化に関する科目を希望する。理由としては単純で、多くの大学が「国際化」を推進しているから。
- ・強いと挙げるならば、教務系知識について。大学職員の3大部署といえば総務・財務・教務ですが、この講座では教務部分をカバーできていないのかなと思いました。自身も教務分野に疎く、受講生の中でもそのような方がいたため、教務系の知識を学んでも良いのかなと思いました。そもそも「大学経営基礎講座」という名前なので、教務を入れていないのかも知れませんが、大学間で違いがありすぎて科目にしていけない等のご事情があるかもしれません…参考まで。
- ・大学の国際化という観点があってもよいかなと思いました。中教審答申でも留学生の獲得という方向性もある、と示されていますし、大学ランキングとの付き合い方(ランキングを肯定するものではありませんし、海外系だけでなく国内のものとも含め)なども、共有できるとよいです。地域における大学、という視点ともうまく組み合わせられるとよいのかもしれません。
- ・「教務事務の基礎(教育プログラム・カリキュラム開発とか?)」、「研究支援の基礎(外部資金の管理サイクル、地域と大学連携?)」。
- ・社会連携や広報、外部資金など、大学と社会(外)とのつながりに関するトピックがあってもよいように思います。
- ・補助金獲得→経営において私立大学はやはり補助金に頼っているところがあると思いますので補助金について(項目の変遷、今後項目に追加されるようなものの先を読む視点)も掘り下げて扱ってもらえるといいと思ったから。
- ・大学マネジメント論関係を増やしてほしいです。
- ・もっと知りたかったという内容ですが、各大学で教職共同の具体的な事例があれば知りたかったと思いました。もちろん大学で状況が異なることは分かるのですが、具体的に事務が事務作業をする人から脱するための取り組みを知りたかったです。
- ・トピックスではないかもしれませんが、受講生が自身の所属組織にて取り組んでいることなどを紹介する機会があっても良いかなと思いました。もちろん話題にできる内容に制限があるので難しいのですが、受講生同士の雰囲気や講座の雰囲気にも慣れている、大学マネジメント論の講義期間中などに、「各自の小さな改革など」共有できる機会があれば、受講生の思考の幅が広がるきっかけになるかもしれません(演習回の時に、自身の経験に基づいた事例など話すこともあったのですが、そればかりに時間を取られてしまったのではと反省しています)。人事制度については、自大学でも深掘していかなければならないテーマだと認識しており、人事制度にフォーカスした演習回というものにも取り組んでみたいと思いました。
- ・DX化・ICT化、特にAI関連。

2.6 必修科目について、どのようなことでも結構ですので、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

- ・どれが欠けてもダメだと思います。もう少し、必須科目を増やして機関や受講料をアップしても良いかと思いました。
- ・講義時間(レクチャーとディスカッション)を延ばして欲しい。毎回本当にあっという間に終わってしまう。
- ・講義科目について、10分～15分の動画は隙間時間に取り組みやすかったので、継続していただければ嬉しいです。
- ・大学財務論、マネジメント論については、申し訳ありませんが演習は若干消化不良感がありました。特に財務論について、貴重なグループワークの時間であるにも関わらず、非常に中途半端な整理されていない、問を最後に投げられたことが残念でした。講義内において、財務論における予算のとらえ方や説明の仕方、また大学マネジメント論における大学行政・政策という言葉の使い方についてとても違和感がありましたが、自身が純粋な大学職員ではないため、という背景が大きく影響しているとも思います。一方で、大学が閉じられている、とも感じてしまった部分もあり、外から見た大学、という視点も必要なのではないか、とも思いました。
- ・大学財務論の理解度が、自分の中では思ったほどではなかった感じがします(動画だけでは基礎知識の理解が及ばず、他でも情報を探して

いたのですが・・)。財務諸表の見方のパターンが多くあると認識しており、慣れもあるかと思いますがパターンがつかめていないのかなと思います。例えば、何校かの財務諸表で、先生が大学の財務諸表を見られている視点を、「純資産構成比率」だけではなく確認箇所を順番に説明していただくと、どういう順番で見ていくのかが理解できるのではと思いました。

- ・Playposit が少々重く、またスマホからはコメントし辛い仕様になっていたのが少し残念でした。個人的には Microsoft Stream の方が好みます。
- ・財務知識のパートは複数回開催していただきたいくらいでした。苦手意識をもつ人が多いことと、その数字から読み解けることや取りうる対策についてはもっと勉強したいと感じました。
- ・オンデマンド授業(講義回)と、同時双方向授業(演習回)のバランスがとても良かったと思います。自分のペースで受講を進められるうえ、適度に締切があることによりダラけることなく最後までやり遂げることができました。
- ・このままで良いと考える。
- ・課題や演習など正直かなり難しい思う内容もあり、業務をしながら、かつ家事や育児をしながらは大変でしたが、その分刺激や気づきも多く、とても満足しています。
- ・講義回について、何かしら理解度をチェックするような確認小テストみたいなものがあると講義の中でさらにどこが重要か、がわかると思います。
- ・大学マネジメント論関係を増やしてほしいです。
- ・普段の業務もある中、演習回や講義動画等の作成、コメントの返信等にご対応いただきありがとうございました。1 点だけ。4 か月間で学ばせていただきありがとうございました。動画のコメントについて、最初の動画は全部に回答せずともコメントをすることで考えながら動画を見ることができました。後半からはそうした縛りがなくなり、少し考えなくなってしまった自分がいました。書けば良かったのですが、個人の意識の問題ですけど。負担感の面をふくめてのご配慮だったかと思いますが、必要なかったのかと思いました。コメントも学ぶ中で非常に参考になっていましたし、演習回でのグループワークの際に、どのような受講者なのかの指標にもなりましたので、個人的には有効に活用していました。
- ・非常に勉強になりました。講義はもちろん知識を得るという意味で良かったのですが、演習回で色々な受講者とのグループにしていたいたので、受講者によって得意な内容であれば補足をしていただいたり、自大学でやっていることを教えていただいたり演習回で学ぶことも多かったです。
- ・なかなか難しいのですが、演習課題について、1人であたこうだと悩むことが多く、演習回で初めて、「課題の意図を十分に捉えきれていなかった」と思うことがありました(そこに気が付くことも学びであり、1人でやり切ることも必要なもので、さじ加減が難しいのですが)。その流れ自体は変えなくてもいいのですが、演習回の後半にようやく、各自で事前にスプレッドシートに入力するところに至ったので(演習回の最初の方は、勝手にスプレッドシートに入力することができることや、やってい事の判断が付きにくかった)、スプレッドシートの共有について、「事前に入力して共有することも過去の受講生はやっていたよ」と次年度以降、受講生に紹介いただけるとよいかなと思いました。
- ・演習回のグループワークでの司会進行とまとめの発表は、大変貴重な経験となりました。普段はこのような機会が少ないため、とても良い実践的な訓練になりました。

2.7 自由科目(大学経営人材開発論)について ※集計上 100%にならない場合もある

	とても良かった	良かった	あまり 良くなかった	全く 良くなかった	参加していない
第1回	29%	50%	8%	4%	8%
第2回	38%	42%	8%	0%	13%
第3回	33%	33%	4%	0%	29%
第4回	38%	42%	8%	0%	13%
第5回	29%	38%	4%	0%	29%
第6回	38%	33%	4%	0%	25%
第7回	58%	21%	0%	0%	21%

2.8 自由科目(大学経営人材開発論)について、どのようなことでも結構ですので、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

- ・大学職員としての今後のキャリアパスを考える一助になった。今回の自由科目の講師の皆さまはとても素晴らしい経験を持っており、大学職員としてはエリートだなと感じた。ただ、私のような一般的な職員のお話も聞けるとよかった。
- ・刺激になった。自由科目は次回以降も継続すべきだと思う。
- ・様々な経験をお持ちの方々のお話を聞くことができ、楽しかったです。グループワークをしていて、どの大学でも同じような悩みが有りそうだとすることに気づくことができました。
- ・色々な方のお話を聞く中で、知らなかった制度や考え方について知ることができよかった。
- ・大学職員は大学に関心がある時点で、学びに対して貪欲な人ものだな、と思いました。自分自身は仕事のためと思わないと学ぼうという感じにはならないので。講師の方々や本講座の参加者の意欲には感心させられました。個人的には教員の方々が、教員になってからどのように学びをしているのか、ということも聞いてみたいと思いました(例えば学内行政(という言葉は好きではありませんが))について、どのように捉えて対応を学んでいるのかとか)。

- ・このような他大学の職員の方の職歴を振り返ってお話を頂く講演は、年配のベテラン職員の方が多い中、今回の自由科目は30代や40代(推定含む)等比較的中堅層の方のお話をお聞きできる本当に貴重な機会でした。必修科目と同じくらいこの自由科目は自分にとって勉強になったし、毎週楽しみで仕方なかったです。
- ・全ての自由科目において、受講後は「自分は何を自己学習しようか?」「これから何らかの勉強を継続したい」というポジティブな気持ちになれる内容ばかりで、受講するたびに、何か学習に関する意欲が高まっていることを実感していました。こんなにたくさんの先生方から、キャリアやご経験の内容を直接お聞きできる機会は滅多にないと思うので、今後の自分自身の在り方を考える参考になりました。
- ・アンケート項目に「ふつう」「どちらでもない」を追加していただきたいです。上記で「あまり良くなかった」を回答した回は、実際には「どちらでもない」に近い感想です(よかったと感じた部分と、よくなかったと感じた部分があって相殺された形です)。
- ・今回受講した大学経営基礎講座の次のステップを受講前からイメージはしていたもののぼんやりとしかイメージできなかったのですが、自由科目を受講し、過去に履修証明プログラムを受講した後どのような学びを継続されているかを知ることができました。自分自身の今後に大いに参考になりました。
- ・大学経営の最前線で活躍されている方々より、リアルなティップスを教えていただき、大変勉強になりました。そのような機会はなかなかないので、とてもありがたいです。
- ・様々な経験や学びをしておられる講師の方々の話を聞くことは非常に興味深く、とても参考になりました。この時間に関しては、せっかくの機会なので、グループワークの時間は取らず(もしくは最小限)にして、講師の方との質疑応答の時間をもう少し取れればいいと思いました。
- ・グループワークをする場合は事前に教えてほしかったです。
- ・実際の職員のお話を聞くことができ、参考になった。
- ・貴重なお時間を使っていただき、ありがとうございました。働き方や学び方、それぞれのスタイルを維持しながら学び続けられている講師陣の講演は考えさせられるものがあると同時に、自大学ではどうなんだろう、そうした考え方や学び方ができるのだろうかと思いました。真似をする必要はありませんが、主体的に動かれていることで今の立ち位置を確立されているのだと思いましたので、行動し続けた先の姿だと思いました。また周囲の協力は必要不可欠だと思いました。個別に講師の方に連絡を取らせていただくことができるなど、科目後もご対応いただけましたので本当に助かりました。今回は大学関係者のお話でしたが、例えば大学外部の方から見た、大学職員・大学業務についてお伺いしたりできれば、そもそもの業務に対する考え方、取り組み方も変わると思いました。
- ・自由科目にて、他の大学で頑張っている職員の方の話を聞き、自分も最も頑張ろうと思うことができました。来年度は是非、毎回別の回の講師の方が来てくださっていたので、一緒にディスカッションできても面白いなと思いました。
- ・自由科目の講師の方々として、様々な背景の方々からお話を聞く機会となり刺激をうけました。自分のキャリアを考えるうえでモデルとなる存在が学内にいないため、講師の方々の人生の楽しみ方が魅力的に映りました。また、欠席者に対してのフォローアップも考慮くださってありがたかったです。
- ・登壇された講師の方々のキャリアについてお話を伺うことができ、大変参考になりました。皆様が素晴らしいキャリアを積まれており、その道を歩みたい気持ちは強くありますが、地方の小規模私立大学で活躍されている方からもお話を伺う機会があれば良かったと思います。

今後の学びについて

3.1 講座受講のインパクト ※集計上100%にならない場合もある

	とても そう思う	そう思う	あまり 思わない	思わない
大学の現場で活用できる力を身に付けることができた	46%	50%	0%	4%
受講により、自身のキャリアにおける課題が明らかになった	38%	46%	17%	0%
受講により、今後の学びに関する自分なりの方向性が明らかになった	33%	46%	21%	0%
受講により、今後も自分なりに学びを継続したい気持ちになった	75%	25%	0%	0%
受講により、大学院進学を検討したい気持ちになった	25%	38%	33%	4%

3.2 3.1.であなたがそのように回答した理由をお書きください。

- ・元々、大学院に進学を検討していましたが、教育職のみならず事務職としての進学も検討するきっかけになった。
- ・講師および受講生のモチベーションが高いため、否が応でも前向きになれる。
- ・大学院進学については、そこで取り組みたい課題が特に重要だと思っていますので、もう少し広く学んで取り組むべきと感じた課題を発見したときに、大学院に行ける選択肢(お金・時間、etc)があればいいなと思います。
- ・受講を通して学びに対するモチベーションが上がった。大学院進学については受講前から検討していたが、色々な学びの仕方を知ることができたので、逆に慌てて目指さなくてもよいのかなと思うようになった。
- ・必ずしもすぐに実践に活用できるわけではないのですが、何かの時にそういえばと思い出せるかな、と考えています。

- ・本講座はあくまで「基礎」という位置づけであることから、受講を機に更に学びのモチベーションをアップさせ、具体的にどう学んでいくかを考えさせて頂く仕組みがあった講座だと感じています。ただ、本講座を受講したことで、自身のキャリアの課題(不得意分野と定義する)が明らかになるのかという所は少し疑問を持ちました。
- ・多角的に考える力を身に付けることができました。今後の学びについては、色々な道がある事を新たに知り、自分のキャリア形成に学習をどう取り入れていくかを考えるきっかけになりました。受講生の方々の考えや学が意欲を拝見し多大な刺激を受けるとともに、仲間意識を感じながら自分もできることを頑張ろうと奮い立たせられました。
- ・今回の講座受講がきっかけの一つとなり、大学職員としてのキャリア形成に大学院進学が必須と位置付けました。自由科目の話題提供者の皆さんはそれぞれ自分自身の大学職員観を持っておられ、共通して大学院進学をされています。その大学院での学びはきっと自分自身の大学職員観を醸成してくれるのだと感じました。
- ・これまで漠然と理解していたことの背景や仕組みをより正確に知ることができました。大学の方々と会話するにあたって参考になりました。
- ・エフォートが評価に結び付くことで、よりモチベーションが高まるのではないかと思います。
- ・学びに関する方向性は見えてきたが、育児等もあり自分のペースでしか学びを継続できないと感じたから。
- ・今回の講座を受講する前は、高等教育の課題や大学職員として必要なことを漠然とイメージしていただけでしたが、講師の先生や他の受講生の方の話を聞いてかなり具体的なイメージに変えることができました。また、情報交換をする中で自分自身に足りない部分を痛感し、今後の学びの意欲が増しました。
- ・幅広い範囲を扱ったので、色々学びたいという気持ちになった。
- ・高等教育に関する研修会をつまみ食いするのではなくまとまった学修(大学院)が必要だと思ったから。
- ・講座を通じて、すぐに業務に活用できる内容もありましたが、多くの場合、受講後に個々人が意識を持ちながら業務に取り組みなければ意味がないと感じました。「大学の現場で活用できる力を身につけることができた」:財務やマネジメントについて、意識することで普段の業務をより深く考えるようになりました。たとえば、「どうすればコストを削減できるのか」「大学や学生、教職員にとって有益な情報は何か」を意識し、アンテナを張る習慣が身についたと思います。すぐに目に見える形で活用できているわけではありませんが、確実に業務への応用につながっていると感じています。「受講により、自身のキャリアにおける課題が明らかになった」:キャリアについては普段から考えています。大学で働き続けるべきか、転職や独立を目指すべきかといった選択肢を常に模索しています。そのため、受講によって新たに課題が明らかになったというよりも、既存の課題を改めて確認する機会となったように思います。「受講により、今後の学びに関する自分なりの方向性が明らかになった」:得意分野だけでなく、苦手分野や興味の薄い分野を学ぶことで、新たな発見があると感じました。また、対話の際に必要な知識を持っていることで、交渉や提案が通りやすくなると思います。そのため、より幅広く学びを深めたいと考えるようになりました。さらに、得意な分野を持つ他者(2 期生など)に相談する重要性も実感しました。「受講により、今後も自分なりに学びを継続したい気持ちになった」:現在の業務に必要な学びは継続して行っています。講座を受講したことで、この姿勢を今後も維持していきたいという思いが強まりました。「受講により、大学院進学を検討したい気持ちになった」:大学院進学については、費用面や総合的な条件を考えると現時点で検討する予定はありません。ただ、少し興味が湧いたのも事実です。
- ・元々大学院の進学を考える中でまずは自分の大学が他の大学と異なる部分を知りたいと考え、また自分には大学の基礎知識が足りないと考えていたので、履修証明プログラムで基礎知識を固めたいと思い、このプログラムを履修しました。自由科目で自分で調べていた中にはなかった大学院を修了された方もいらっしゃる、より具体的な検討を進めることができました。またタイムリーに大学のカリキュラムを含めた企画運用をする部署に異動となりました。そこで今回の学びで勉強したことを生かして、根拠のある提案ができるようにしたいと思います。
- ・大学経営基礎講座を通して、自分自身の中で大学業務を進める上での課題やそれをどのように捉えるかということについて新しいチャンネルを開くきっかけになった。ただし、まだこの学びを実践につなげるには、何度も試行錯誤が必要だと考えています。本講義のコンセプトである、専門的知識の土台の上に技術、さらにそれを経営力に押し上げるためには、自分自身の能力としてそれぞれの要素が十分ではないですし、自分の中での軸となるものをはっきりとさせるためにも、ここからの学びと実践の継続次第と感じているところです。正直なところ、もっと早く大学経営の勉強を始めておけばよかったと痛感しました。受講期間中に、各講座で学んだことなどを視点に、業務に取り組むときに意識づけすることが少しずつできたので、講座の受ける前後で自分自身の行動に変化があった。
- ・この講座は大学を取り巻く環境について理解を深める貴重な機会となりました。特に、他大学で異なる業務を担当している受講生との意見交換は非常に有意義でした。そこで得られた知見は今後の業務に大いに活かせると考えています。
- ・今後も学び続けたい、学び続けなければいけない、学ぶことを学内に広めたいと思える講座だった。

3.3 今後の学びに関して、あなたご自身はどのような学びを行っていきたいと思われますか。どのようなことでも結構ですので、お書きください。

- ・一般企業では人事としてのキャリアがあり、それを活かした知識を身に付けたい。また、経理・会計についても業務遂行能力だけでなく、法令や知識についても学ぶ必要があると感じた。
- ・博士課程に進学し、scholar-practitionerとして活躍できる大学職員を目指したい。
- ・今回の履修証明プログラムのように、分からない・苦手な分野で、強制的に学習できることが自分にとって良かったです。今後は、自身の興味のある分野(大学マネジメントや人材育成)について関連の書籍・セミナー等で学習しつつ、分からない・苦手な分野(Excel等のMSの機能の知識、統計など)を放送大学、資格試験等の強制力のある手法で学習していきたいと思いました。
- ・大学行政管理学会に所属しているためそちらでの活動を通して学びを得つつ、書籍等を使った個人的な学習も続けて行きたい。その他、外部の制度についても積極的に活用していきたいが、特に大学経営人材開発論の中で話の出ている JSPS の国際学術交流研修についてとても関心を持ったので、参加を考えてみたい。

- ・業務に必要な知識を業務を通じて学んでいくことになるかと思います。
- ・インプットばかりでなく、アウトプットをしていきたいと思います(そういう場が欲しい…)。
- ・大学院には進学したいと思うものの、院は勉強だけではなく研究が必須であることや、時間を捻出できるかということや、中々一歩踏み出せないというのが正直な所ではありません。そのため、本講座のように履修証明プログラム等を中心に受講して、学び続けていくのだと思います。
- ・直近は、自身が所属する業務分野が急速に変化しているため、その専門知識習得に関する民間の技術系講座(長期)を受講する予定です。ただ、高等教育について考える時間も継続したいので、空き時間には大学が提供する E-Learning の受講や短期間の学外研修や講座に参加したいと考えています。ただ、大学院での学びについては職場、家庭の理解が不可欠であり、自分自身の置かれている立場などから大学院進学が重荷になってしまうのではないかと感じています。また、大学院進学を行うにあたって、どの分野で進学するのかがまだ決まっていません。
- ・常に法令や答申の内容を把握しつつ、興味のある研修会に参加し、他大学の方々と接点を持つ学びをしたいと考えている。
- ・現時点で、自分自身の今後のキャリアについて「どうなりたいのか」「自分は何が得意で何が向いているのか」まだよく分かっておらず、仕事と大学が無くなってしまわないために、目の前の業務を必死にこなしている状況です。引き続き様々なテーマの研修に参加し、大学業務のことをよく知り、自分の核となる部分を探したいと思います。その前提に最低限の学びとして、国の政策に対してアンテナを高く持ち、中教審の答申資料などは細かくチェックしようと思いました。
- ・現実的にはお金がないため、大学院は難しいですし、今後の大学淘汰時代を考えると別の武器となるようなスキルを得られるような学びも必要だと思います。
- ・大学院進学など。
- ・受講者同士のつながり、1 期生、2 期生含めて 57 名いますので、情報交換をしながら学びを進めていければと考えております。まだ外部の研修にコロナ以降、あまり参加できていませんでしたので、少しずつ参加を増やしたいと思います。
- ・1. 医学教育に特化した事務のプロフェッショナルになれるよう学びを進めていきたいと考えています。医学教育は大学教育と多少異なっており、文科省のみでなく、モデルコアカリキュラムや医師国家試験出題基準といった厚労省の動きにも注視する必要があります。筑波大学の履修証明プログラムは医学教育のカリキュラムもあるため受講を考えています。2. 生成 AI による試験問題の作成を考えているのですが、それが実現できれば教員の問題作成の負担を軽減することができます。こういった内容を学会で報告したいという思いがあります。実際どうすれば報告できるのかまだ分かっていないのでまた先生方にお伺いしながら進めたいと思います。
- ・本講座を受講できたことは大きな縁だと思っています。講師の先生方や同期(受講生)の方々と引き続きオンラインや対面等で学びを継続できる機会が設けられたらありがたいです。自分自身は、今回の学びを通して、自学のスタッフに対して還元したいと考えています(そのために、もう一度初めから復習しないとダメです)。とはいえ、1人で全てはできないので、頑張り過ぎず、でも歩みを止めないように総合的な力(マンパワー)を育てたいです。
- ・大学院進学までの本格的な学習は難しいかもしれませんが、この学びを継続し、大学経営に貢献できる人材として成長していきたいと思っています。
- ・何か専門的な学びよりも本講座の構成のように大学職員として求められるスキルを幅広く学びたいと思う。また、自身の学びを少しでも学内に発信することに取り組みたいと思う。

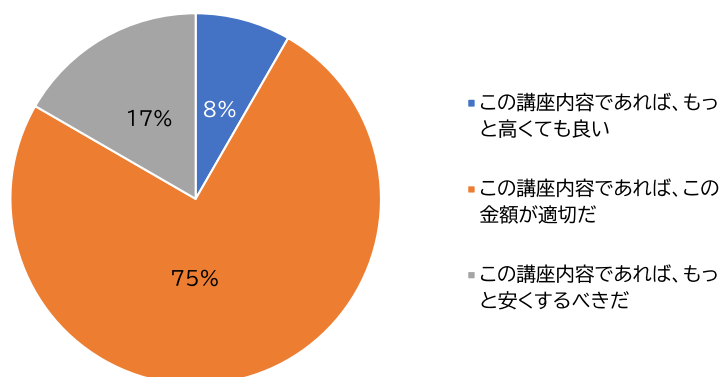
3.4 今後の学びに関して、今回の大学経営基礎講座を前提とした大学経営応用講座を新たに開講するとした場合、あなたは参加されたいと思われませんか。内容や実施形態も含めて、自由にご意見をお寄せいただけると幸いです。

- ・是非参加したい。今回は基礎講座であったが、本学の事務職員スキルからすれば、非常にレベルの高い内容であった。このような基礎と応用を体系的に学べる講座は必要だと感じる。実施形態は参加の容易さを考え、オンラインで開催。数回は対面での開催を希望する。期間については、1年程度として、論文までとは言わないが、自大学の課題を取り上げ、解決まで行う。もちろん、解決はできるものとできないものがあるが、それまでのステップが重要であると考え。
- ・参加したいと思いますが、動画に関して講師が 2 名いた場合、視聴の本数が多いのでもう少し減らして頂けると取り組みやすいと思います。
- ・ぜひ参加したい。完全非同期型の講座にも需要があると思う。
- ・是非参加したいと思います。が、今回の講座を受けていても他の受講生の知識量に圧倒される部分がありましたので、講座を受けるに相応しい知識がつけば受講したいです。実施形態は今回のものと同様、オンライン&オンデマンドであればありがたいです。内容については、管理職向けの内容(チームマネジメント、人材育成、プロジェクトマネジメント、リスク管理)に関する講義があっても良いのかも知れません。
- ・ぜひ受講したい。基礎講座と同様にオンライン開講だと参加しやすいのでありがたいと思う。
- ・今回の講座と同じような形式(週末開催、オンライン等)であれば参加してみたいと思います。
- ・是非とも参加したい。事例紹介とその事例からの考察といったカリキュラムは入れてほしい。
- ・参加したいです。実施形態は、今回のように全てオンラインでお願いしたい。対面でのコミュニケーションも重要であることは理解しているものの、対面ありにすると受講者が限られるため、天秤にかけた結果、参加が容易であることに重きを置いて頂けると幸いです。
- ・大学経営応用講座を開講する場合は、参加したいと思います。今と同様の形態が参加しやすいです。
- ・内容や実施形態によっては参加させていただきたいです。オンライン受講可で、時世と興味関心のある分野であればと考えています。また、受講料による部分もあります。仮に市販の書籍で学習できる域を出なければ、タイムパフォーマンス次第という考えです。
- ・参加したいと思う。筑波大学の大学マネジメント人材養成とうまくすみ分けていただけるといいと思います。予算のことや運営のことを無視してお話ししますが、ミネルバ大学のように全国各地を講師陣が転々とし、受講者は近隣地域での開催のみ現地参加とするやり

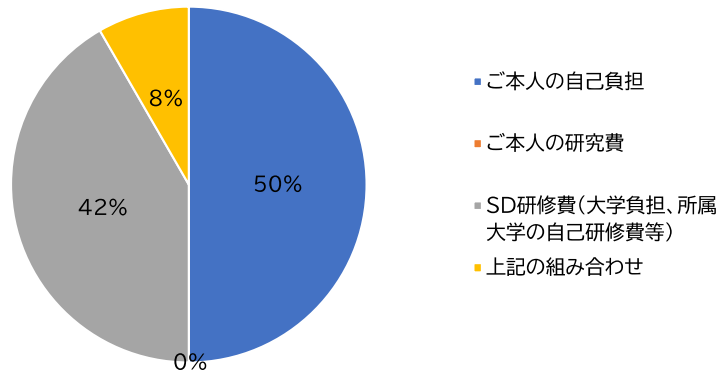
- 方もあると思います（やはり一度も対面が無いのは悲しい…。せめて同地域の方だけでも対面で…。）。
- ・是非参加したいです。期間や時間としてはとても受講しやすかったので、これをもう1ターム別途選択できるというのは受講にあたってのハードルが下がります。また、基礎講座をベースに更に深い知識を習得できるのはありがたいです。
 - ・ぜひ参加したいです。将来は管理職に就きたいと考えているので、大学におけるチームマネジメントやプロジェクトマネジメントに関する内容を勉強できたら嬉しいです。
 - ・是非、参加したい。基礎講座を前提とした管理職向けの講座があると良いと感じる。
 - ・参加したいと思いますが、応用編について行けるか少し不安な部分もあります。もし参加の機会があるようであれば、もう少し実務経験や学びを経て参加させていただければと思います。実施形態は今回のようなオンライン形式を主とし、一部対面でも参加できればいいと思いました。
 - ・参加したいと思います。高等教育を取り巻く環境は変化し続ける一方で、大学特有の変化を拒む風潮により変革を起こしづらいという特殊な機関であると感じます。情報を常にアップデートし続けることと、内部だけでなく外部に仲間を持つことが、変革の起爆剤になりうると思っていますので、そのような機会があると大変助かります。
 - ・参加したい。東北での参加は難しいので、オンラインだと参加しやすい。もしくは対面であれば短期集中(3～5 日間)開催もありだと思った。
 - ・参加したいと思います。可能であれば対面実施を希望します。月1回であれば何とか参加できると思いますし、対面でないと人間関係の構築はやはり難しいと考えるからです。
 - ・参加したいです。
 - ・実施形態は今回と同じようなオンライン形式で実施し、最終講義は現地で実施するのもいいと思います。個人的な負担は増えますが、対面で得られる学びも多いと思います。応用になると半年～1 年間は必要だと思いますし、内容も今回の内容にプラスして学生・留学生指導なども追加すればと思います。経営でするので入学後の学生指導は学納金に関わることから必須であり、退学によって学納金が減ることは財務上避けてたいポイントだと思います。参加したいと思いつつ、その時の業務状況などを総合的に判断し決めたいと思います。研修費用が今回とあまり変わらず、大学が負担してくれるなど条件が整えばいいところです。
 - ・是非、参加したいと思います。内容としては大学変革リーダー育成プログラムのような形がいいなと思います。自身の大学の課題を探究するような内容で最後に自身の論文をまとめられるとこの次のステップに繋がると感じました。難しいとは思いますが、大学と同様に各講師の講義を受け、自分のやりたいこととマッチングさせ、ゼミのように講師の元に入り、最後に発表をするというを基本オンラインでできれば、地方在住者としても参加がしやすいように思います。
 - ・オンラインの講座の受講について、自分が苦手としている部分についても今回の講座を通して見つめることができたので、今回同様の形式であれば、受講に興味はあります。ただ、前提として基礎講座を自分の中にしっかりと落とし込んだ上でなければ難しいと考えています。また、応用講座の内容がどのようなものなのか書面だけでなくデモ講義等で事前に確認できるとありがたいです。また、学びの継続のために、大学経営実践講座というような、実務により絡めた講座があると大変興味があります。
 - ・今回学んだトピックが個別の応用講義として開講されるのであれば、ぜひ受講したいと思います。ただし、4 つのトピックを一度の講座で受講することは、学習負担が大きくなる懸念があります。講座期間としては4 か月程度に収めていただけたらと思います。
 - ・ぜひ参加したい。より発展的で大学をけん引するリーダーの養成を目指すような内容であると参加したいと思う。実施形態等は基礎講座と同じが取り組みやすいのではと思うが、内容によっては対面形式が一度でもあってもいいかと思う。

大学経営基礎講座の受講料について

4.1 受講料についてあなたはどのように思われますか。1つお選びください。



4.2 受講するにあたって、受講料はどなたが負担されましたか？



4.3 貴学・貴社では外部機関の研修を受講するにあたり、何かしらの支援制度がありますか？差し障りがなければご教示ください。

- ・上司が参加を承認すれば研修費は大学負担。
- ・大学職員としてスキルアップにつながる通学・通信講座の受講や資格の取得など、年度1回、受講料・受験料などの内3万円までを全額(3万円をこえる金額については10万円を上限として半額)を補助する「自己啓発研修制度」あり。
- ・放送大学等の大学で認めているものを受講する場合は、一定の要件(合格や修了)を満たせば、補助(一部・全額)を受けることが出来ます。
- ・支援制度はあります(自身は正規職員ではないため対象外)。支援額の限度があるもの、また全額負担されるものとあるので、全学負担の候補にできないか担当部署に相談済です。
- ・昨年度まではあったが、今年度あるかどうか未定(なので自己負担している)。
- ・個人研究費(申請制)、大学が指定する外部研修の費用負担。
- ・個人研究費が年間6万円使用できるのでそこから書籍購入や研修参加などを行っています。
- ・年間で数万円を上限とした支援制度があります。
- ・上長に申し出てOKがもらえれば支援されるが、額が大きいものに対しては消極的である。2万円くらいなら問題ない。
- ・組織として必要と感じてもらえれば予算措置してもらい、自費ではなく研修費として支援してもらえたり、助成してもらえる制度があります。
- ・自己啓発で、通常の資格講座などであれば上限金額を設けた補助があります。今回の履修証明プログラムなど、大学からの案内があった場合には大学が全額負担し受講が可能です。
- ・事務職員には年15万円までの研修費支援制度がある(業務に関係する内容に限る)。
- ・ありますが上長の許可が必要です。上長の理解がない(個人的な自己啓発になる)場合は支援は受けられない制度となります。
- ・あると思うが、不明。
- ・個人研究費補助:職員一人当たり年間5,000円の「個人研究費」を予算化。職場研修会補助:各部門・部課室センターなどの業務上の課題に応え、職場研修費を各職場単位に交付する(1人当たり5,000円)。通信教育・大学院・その他実務学習を受講するために通学する場合、個人負担金(授業料ー公的補助金)の2分の1以内の補助を行う(上限10万円)。上記が主な規定。
- ・全くありません。自己負担です。あまり事務職員の養成ということに注力していないと思います。
- ・自己啓発支援制度があるが、修了後の報告もあり、自己負担額も大きいので、活用事例は多くない。個人的にはこの制度が多いに助かっています。
- ・今回は学内の「自己啓発研修制度」を活用して参加したため受講料は全額大学負担でした。募集要項で受講料の機関負担を促していただいたのもありがたかったです。

4.4 受講料についてご意見がございましたら、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・10万円と聞くと高いイメージを持ったが、いざ参加してみると内容や講義回数、事前課題など、全てを考えると非常に安いと感じた。もし、自己負担であれば、受講料の分割納入とかの制度があると、お小遣い制の家庭でも払えるのかと思いました。
- ・大変だと思いますが、ぜひこのままの金額で頑張ってもらいたいです!!
- ・受講料と講義内容のバランスに意見はありませんが、他大学で全額大学負担・業務時間内での受講可、という状況の方もいらっしゃるのでは、大学間格差は感じました…。
- ・若手職員には支援制度等がないと厳しい金額設定だろうとは思いますが。
- ・第一期の8万円くらいが妥当。
- ・本学には、特段支援制度はないことから、自己負担で受講しました。個人的には、自己負担すべきという考えであるも、自己負担で参加する場合、全員が全員10万円というお金を払ってでも受講したいと思うかは分からないので、金額設定としては10万円より高いと参加者が減るのではないかと考えます。参加者がもう少し増えても、受講者側としては差支えないと感じたので、金額を高くするなら、参

加者を増やす方が良いのではないかと考えます。

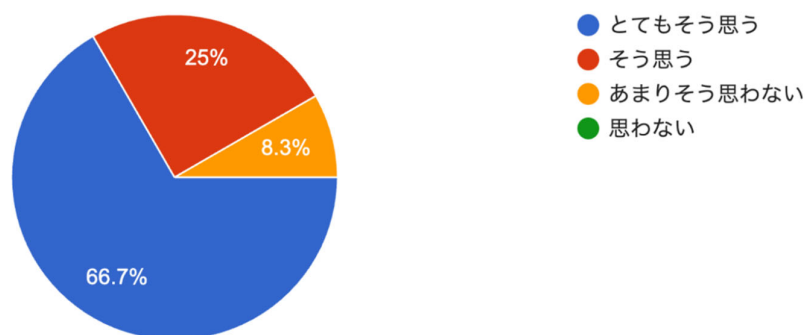
- ・参加人数を考えると一人当たりの単価が高くなってしまふのはやむを得ないと理解しつつも、個人で負担するのでもう少し安いとありがたいです。一方、人数を増やせばこの仲間感も薄れてしまうので、そのバランスは難しいところだと推察しています。
- ・特にございませんが、個人負担されている受講者もいましたので参加をあきらめる方もいると思います。参加者との情報共有や講座内容等総合しても 10 万円以上の価値はあったと思いますので、そうしたことが伝わればと思います。次年度は自分たちの感想が受講者に良くも悪くも影響を与えてしまうので、講座内容もそうですが、価値を伝えられたらと思います。
- ・個人負担として少し高く感じました。「職業実践力育成プログラム」(BP)や「教育訓練給付金制度」になればいいなとは思いました。
- ・本講座を運営するに当たり、自由選択科目も含めると多くの方々から学びを教授いただけるだけでなく、その後のサポートも含めると、受講者の費用負担は低く抑えられているように感じます。また、自分自身が「頑張る覚悟を決める」のに、ちょうどいい(手は出せるけど痛い)金額に設定されていたと思います。
- ・充実した講義や演習環境、受講期間 4 か月を考えれば妥当だと思います。
- ・見落としていたら申し訳ないのですが、昨年度から値上げされた理由が明記されていれば、機関負担してもらうときに説明しやすいです。

広報他

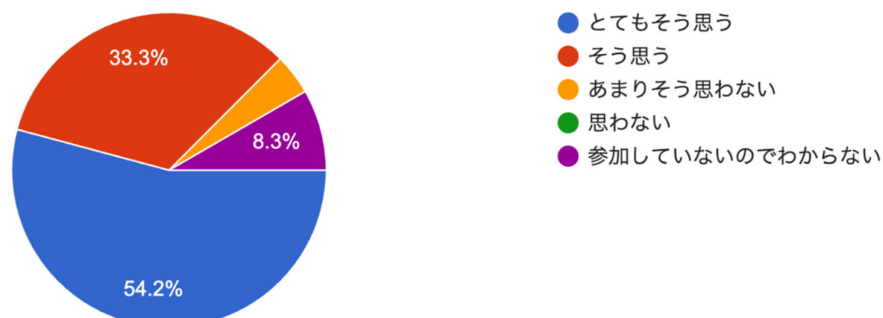
5.1 この講座をどのようにして知りましたか。(複数回答可)。

質問項目	回答人数
所属機関・大学での連絡・掲示(チラシ)	15 人
X(エックス)等の SNS やメーリングリスト	3 人
PD セミナー	0 人
その他(JUAM(大学行政管理学会を通じて))	1 人
その他(以前に何かで見て、改めて検索してみた)	1 人
その他(前年度参加者からのすすめ)	2 人
その他(Web 検索)	1 人
その他(所属大学の事務局長からのメール)	1 人
その他(国が出している履修証明プログラムの一覧から大学職員関連を抽出し、発見)	1 人

5.2 この講座を同僚や知人に勧めたいと思われますか。



6 講座開始前のオリエンテーションは、講座を受講するにあたって有益だったと思いますか。



その他

7 最後に大学経営基礎講座に関して、どのような点からでも結構ですので、ご自由にご意見をお聞かせください。

- ・参加者が仲良くなれるように、ランチミーティング等を企画いただきましたが、業務の都合上、1度しか参加できませんでした。戸村先生はじめ講師の皆さまや事務担当者さまが、いかに、本研修を大切にしているかが伝わりました。本学では、まだ次年度の予算は決定しておりませんが、本講座を最低1名は受講できるように、予算確保しました(私が予算担当のため)。是非とも、本学から次の受講者が手を挙げてくれること期待しています。4か月間本当にありがとうございました。引き続き、よろしくお願いします。
- ・大学経営基礎講座を受講する価値は、非常に高いモチベーションを持つ大学職員たちと切磋琢磨できる点にある。
- ・短期間ながら密な講義を作り上げてくださり、ありがとうございました。受講生の自主性を尊重して真摯に対応してくださるなど、配慮の行き届いた環境のなかで「学びの楽しさ」を思い出せたような気がします。そういった対応面でもお手本にさせていただきます。
- ・他の大学の様子を知る機会がありませんので、いい機会になりました。マネジメント論では自大学の事例をもとに考えを提出する、という課題がありましたが、大学内で実際に検討が進んでいる話については出しづらく、中途半端なおぼろげの内容での課題提出となってしまいました。また、各大学の置かれている環境はさまざまであり、そうした状況を知れること自体はよかったのですが、グループワークの難しさも感じたところです。2 週間同じようなことをやるのであれば、例えば一つは共通の内容についてのもの、一つは自学のもの、というようにバランスをとっていただけると、理解も深めやすいかと思います。Playposit にコメントを書き込める仕組みは、口頭より文字でのコミュニケーションの方がやりやすい私にとっては、自分自身の頭の整理にもなり、良かったです。
- ・受講者の方は知識・考え方・意欲等、どの側面から考えてもレベルが高く、講師の方(自由講座も含む)も、本業が忙しい中この講座のため非常に洗練された授業をして頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。課題も多いと聞いていたが、課題が大変ではないと意味がないので、そこまで苦にもならず、勉強にもなったが楽しかったというのが 1 番の正直な感想です。心から受講して良かったと思っているので、次年度は人事に受講推奨を提案しようと思います。
- ・大学経営基礎講座では、大変お世話になりました。初めての学外研修で不安が一杯でしたが、戸村先生をはじめ講師の先生方の親身なサポートやお声がけ、受講生の方々の高い学びに関する意欲に刺激を受けて、不安が少しずつ楽しさに変わり受講を完了できました。1 か月ごとに変わる TOPIC では難しく毎月大変でしたが、最終月には各 TOPIC で学んだ側面から考えることができており明らかに考えの幅が広がったと実感しています。大学経営基礎講座後の学びについては、本講座が楽しく有益であったからこそ次の他の学外研修にも興味を持ち前向きに受講したいと考えることができたと思います。これからも大学経営に関する学びの継続という観点から、大学経営基礎講座の同等レベルの内容で、ケーススタディを考える機会があるといいなと思います。例えば、次年度の講座で学習する一部ケーススタディ(課題)と先生のフィードバックの公開です。前項で「大学経営応用講座」の話がありましたが、自分のレベルでは、応用より基礎講座の内容でもっと複数事例について考える練習をしたいと考えました。
- ・大変お世話になりました。受講の機会をいただき、ありがとうございました。
- ・自大学の新入職員や、経営企画に配属された職員への研修の一環として受講を勧めたいです。
- ・改めて貴重な機会をありがとうございました。企業から参加している方がおり、皆さんのディスカッションを邪魔してしまわないか心配しており、少し控え目にしていましたが、職員の方々の生の声を聞けるのはとても参考になりました。将来企業の方が参加するのであれば是非お勧めしたいです。また、全体を通して戸村先生のお人柄がにじみ出た、非常に雰囲気の良い講座だったと思います。オンラインだけでのつながりは大変だと IT 企業の立場としても良く理解しておりますので改めて御礼申し上げます。もしいずれの講師の方が企業と意見交換などをしていてもよいということがあれば、参加者かつ IT 企業の立場として機会をいただければ幸いです。
- ・約半年間、大変お世話になりました。またどこかでお会いできたら嬉しいです。ありがとうございました！
- ・入職したときにこの講座があれば、今の私は違っていたかなと感じる。そのくらい魅力的であった。
- ・初回の授業を受けた際は、受講生の方々のレベル(意識、知識、経験値…などなど)の高さに圧倒され、自大学や自分自身のレベルの低さを痛感し、危機感と4カ月ついて行けるかの不安を感じていましたが、受講しやすく分かりやすい講座を展開していただいた講師の方々、運営の方々にとても感謝しています。インプットしたことをどのようにアウトプットして自分の力にするかは、自分次第ですので、引き続き学びを深めていこうと思っています。
- ・ディスカッションの時間が少し足りなかったと感じた。
- ・対面開催がいいと思います。
- ・研修への参加には課内の協力が必要不可欠でした。業務に支障のない範囲で研修動画を業務時間内に視聴できる環境や協力体制が整っていたおかげで、無事に研修を終えることができたと思います。他の受講者がどのような体制で取り組んでいたかは分かりませんが、周囲の協力にありがたみを感じました。毎年同じ大学から職員が受講できる体制が整えば、大学内で共通の目標に向かって取り組める仲間が増えるため、本学にとっても非常に有益だと思います。今後も本学から、毎年受講者が出ればいいなと、少し期待しております。
- ・まずは 4 ヶ月に渡り、大変お世話になりました。第 1 期生の方にお伺いし、昨年度から大幅な改善として事前の自己紹介や演習回でメンバーをできる限り別にしていただいたり、動画でも講師からの問いかけを入れていただいたり大変ありがたく存じます。正直、途中で自己の業務との兼ね合いで疲れてしまった時もあるのですが、無事に乗り切ることができました。途中で設定いただいたランチミーティングにも参加したかったのですが、業務の都合上参加することができませんでした。もし来年度可能であれば事前に決めておいてかつ時間を少しばらしていただければ参加しやすくなると思います。また動画の問いかけやリフレクションを自身で提出したものを確認する仕組みがないため、書きっぱなしになってしまったように思うのでフィードバックする仕組みがあればいいなと思いました。このアンケートについての提案として次年度以降受講する方へ一言アドレスの設問があっても良いかと思います。根拠のある提案ができる職員になりたいと思います。ありがとうございました。
- ・大学経営を学ぶには遅いスタートを切ったことにはなりますが、そのスタートが本講座であったことはものすごい縁だと感じています。自分一人だけでは到底ゴールまでたどり着けなかったのが、講師の先生方、同期のみなさんにただただ感謝しかありません。講師の先生方の個性や同期のみなさんの個性もすごく魅力的で、本当に苦しくて(演習課題がいやで提出締切に間に合わないこともあったりして)

楽しい4カ月間でした。ありがとうございました！

- ・大変充実した講座で、講義内容と演習回がよく設計されており、楽しく学ぶことができました。受講者の方々も非常に意欲的で、自大学の職員にもぜひ勧めたいと思います。時にレベルの高さを感じましたが、これほど体系的に学べる研修は他にないと思います。ありがとうございました。
- ・4 か月間お世話になりありがとうございました。この講座を受講して本当に良かったと思います。各トピックの構成からも各先生方がいろいろ議論されて作られているものだと感じました。また、Google Classroom でも定期的に投稿していただいたのでオンライン学習でありながらもモチベーションを維持しながら一つのクラスとして参加者がまとまることが出来たように思います。先生方のフォローがあったからこそ円滑なディスカッションにも繋がったと感じています。

*アンケート回答のうち、受講者の個人情報が特定できる箇所等については、文言を修正して掲載しています。